



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6807 URL <https://www.jae.com>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 村木 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小山 克之 (TEL) 03-3780-2752
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	166,787	0.2	5,916	△48.3	6,370	△42.5	4,549	△47.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,827百万円(△16.5%) 2025年3月期第3四半期 10,571百万円(△25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	67.49	67.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	231,268	139,723	60.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 139,569百万円 2025年3月期 133,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) JAE Tijuana, S. A. de C. V. 、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期 3Q	70,302,608株	2025年3月期	70,302,608株
2026年3月期 3Q	2,885,278株	2025年3月期	2,901,788株
2026年3月期 3Q	67,407,751株	2025年3月期 3Q	67,369,966株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P 2 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲の重要な変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済動向を概観すると、米国では、期中盤にかけては堅調さを維持したものの、後半には関税政策による物価上昇や、雇用情勢の悪化により減速の兆しが見られました。欧州では製造業を中心に需要低迷の影響が継続し、中国では個人消費や設備投資が減速するなど、景気は弱含む展開となりました。わが国経済も、緩やかな回復が継続したものの、物価上昇による消費マインドの下振れ、通商問題による企業業績への影響など、不透明感の高い状況となりました。こうした中、為替については期初に円高が進行した後、期後半にかけて円安方向に推移しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、自動車市場で堅調な需要が継続したものの、電動車の成長鈍化や、欧州・中国市場で一部自動車メーカーの販売不振などが見られた他、携帯機器市場では需要動向が機種毎で異なるなど、まだら模様となり、産機・インフラ市場も、一部FA向けなどで向上く動きも見られましたが本格的な回復には至りませんでした。一方、航空・宇宙市場では、防衛装備品の需要が引き続き堅調に推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、グローバルマーケティングと新製品開発のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の推進による工場稼働率改善、設備効率化によるコストダウン、諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努め、売上高は概ね計画に沿って推移しました。一方で、利益面については、自動車市場、携帯機器市場において今後の成長を担う新製品の立上げに伴い発生した試作費用や仕損費の改善に取り組んできたものの、金や銅をはじめとした主要原材料の価格が期後半にかけて急激に高騰した影響などにより、想定を上回るコスト増を招きました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,667億87百万円（前年同期比100%）、利益面においては、営業利益59億16百万円（前年同期比52%）、経常利益は、為替変動の影響を受け為替差益を計上したことにより、63億70百万円（前年同期比58%）、親会社株主に帰属する四半期純利益45億49百万円（前年同期比52%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、今後の成長に向けた新製品等の設備投資や企業買収による固定資産の増加に加え、棚卸資産の増加などから、前連結会計年度末に比べ158億24百万円増加の2,312億68百万円となりました。

負債は、上述の設備資金調達に向けた借入金の増加や仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ97億97百万円増加の915億45百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び円安による為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ60億27百万円増加の1,397億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想（通期）及び配当予想（期末）につきましては、2025年10月30日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	52,874	52,854
受取手形及び売掛金	37,662	38,664
棚卸資産	29,176	35,348
その他	5,674	7,439
貸倒引当金	△108	△109
流动資産合計	125,279	134,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,118	27,373
機械装置及び運搬具（純額）	17,560	20,589
工具、器具及び備品（純額）	6,987	7,392
土地	6,763	7,054
建設仮勘定	12,861	10,926
有形固定資産合計	70,291	73,336
無形固定資産	2,656	2,849
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,906	2,467
その他	15,439	18,547
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	17,216	20,884
固定資産合計	90,165	97,070
資産合計	215,444	231,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,370	32,175
短期借入金	6,000	7,000
未払法人税等	1,402	1,005
取締役賞与引当金	96	42
その他	13,052	13,292
流動負債合計	48,921	53,515
固定負債		
長期借入金	31,000	35,500
退職給付に係る負債	62	201
その他	1,764	2,328
固定負債合計	32,826	38,030
負債合計	81,748	91,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,431	14,431
利益剰余金	96,960	98,653
自己株式	△7,321	△7,280
株主資本合計	114,760	116,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,457
為替換算調整勘定	13,394	17,244
退職給付に係る調整累計額	3,807	3,372
その他の包括利益累計額合計	18,796	23,074
新株予約権	139	153
純資産合計	133,696	139,723
負債純資産合計	215,444	231,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	166,453	166,787
売上原価	135,167	140,473
売上総利益	31,286	26,314
販売費及び一般管理費	19,832	20,397
営業利益	11,454	5,916
営業外収益		
受取利息	236	391
受取配当金	546	372
為替差益	-	613
その他	236	196
営業外収益合計	1,018	1,575
営業外費用		
支払利息	480	496
固定資産除却損	388	446
為替差損	397	-
その他	136	179
営業外費用合計	1,402	1,121
経常利益	11,070	6,370
特別利益		
固定資産売却益	344	-
特別利益合計	344	-
税金等調整前四半期純利益	11,415	6,370
法人税、住民税及び事業税	2,778	2,115
法人税等調整額	△83	△294
法人税等合計	2,694	1,820
四半期純利益	8,720	4,549
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,720	4,549

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,720	4,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△434	863
為替換算調整勘定	2,516	3,850
退職給付に係る調整額	△230	△435
その他の包括利益合計	1,851	4,278
四半期包括利益	10,571	8,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,571	8,827
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であったJAE Tijuana, S. A. de C. V.は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	52,148	—	—	—	52,148	—	52,148
自動車	79,645	4,188	162	—	83,996	—	83,996
産機・インフラ	10,674	2,675	7,632	—	20,982	—	20,982
航空・宇宙	—	—	5,683	—	5,683	—	5,683
その他	3,260	—	—	382	3,642	—	3,642
顧客との契約から 生じる収益	145,728	6,863	13,479	382	166,453	—	166,453
計	145,728	6,863	13,479	382	166,453	—	166,453
セグメント利益 (注)1	13,158	268	1,735	58	15,220	△3,766	11,454

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益ですが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,766百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	49,540	—	—	—	49,540	—	49,540
自動車	81,882	3,515	71	—	85,469	—	85,469
産機・インフラ	12,582	2,015	6,197	—	20,795	—	20,795
航空・宇宙	—	—	6,737	—	6,737	—	6,737
その他	3,883	—	—	361	4,244	—	4,244
顧客との契約から 生じる収益	147,889	5,530	13,006	361	166,787	—	166,787
計	147,889	5,530	13,006	361	166,787	—	166,787
セグメント利益 (注)1	9,064	6	811	97	9,980	△4,063	5,916

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益ですが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費4,063百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	15,419百万円	14,590百万円